

2017年度 第24回 同友会経済サミット企画

浜松グローバル人材研究会 発足総会

日 時 : 平成29年9月11日 (月) 18:00～

会 場 : グランドホテル浜松 2F 桃山の間

～ 式 次 第 ～

1. ご挨拶

代表幹事 御室 健一郎 様

2. ご講演

テーマ: 「外国人労働者を巡る最近の動向」

講 師: 厚生労働省職業安定局

外国人雇用対策課長 赤松 俊彦 様

3. 研究会発足について

政策委員長 野澤 浩樹 様

4. 事務局連絡

・顧問ご紹介

・諸事 (今後のスケジュール等)

5. グループ会議 (～20:00終了予定)

以 上

浜松グローバル人材研究会 発足趣旨

「グローバル人材に選ばれる街・浜松を目指して」

一昨年で開催された第22回の同友会経済サミットのテーマは、「浜松地域が求めるグローバル人材とは？」でした。「グローバル人材」という広いテーマの中から、本年度は、浜松の未来に向けて発展させる為に、海外からの外国人グローバル人材に世界196カ国の中から日本を選び、日本国内の1,700余りある自治体から地方都市である浜松を選んで頂き、浜松で活躍し、浜松に居着いて頂く為には、何が必要なのかを中心に各研究会で議論をして頂きたいと考えています。

欧米各国はもとより、浜松市の企業の進出先としても多く、経済発展著しいアジア諸国は、以前のような単純労働者（アジア＝安い労働力＝ワーカー）だけではなく、優秀な人材を多数排出し、世界中のいわゆる先進国からの猛烈な争奪戦が始まっています。必要とされる場所（ココ浜松）・事で、国籍・性別・年代関係無く、周りの優秀な人材と共に成果を出せる人材に浜松を選んで来て頂きましょう。

その為には、アメリカンドリームならぬ浜松ドリームを感じられる街づくり、多様性を受け入れるダイバーシティーな街づくり、産学官の連携、観光・教育・産業の連携が必要です。

研究会では、産業・大学・浜松市の3つのグループにて、グローバル人材の現状課題を把握し、選び根付いてもらう魅力ある浜松にする為の問題提起を行います。

(2015年データ)

静岡大学：約 10,000 人（学部 8,657,大学院 1,531,留学生 327）

○立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）留学生 2,916 人，国内 3,043 人
海外 Office<韓国、上海、台湾、インドネシア、タイ、ベトナム、カナダ>

(2017年データ)

静岡大学：約 10,000 人（学部 8,602,大学院 1,356,留学生 396）

・留学生（アジア：366 その他：60 アジア比率：92.4%）

浜松医科大学：約 1,200 人（学部 996,大学院 212,留学生 15）

・留学生（アジア：15（中国・インド・バングラデシュ・ベトナム）アジア比率：100.0%）

2017年度 同友会経済サミット企画 研究会組織体制



■顧問詳細

(JETRO浜松) 日本貿易振興機構(ジェトロ) 浜松貿易情報センター
 所長 志牟田 剛 様

(静岡大学) 静岡大学 情報学部 行動情報学科(グローバル企画推進室長)
 教授 白井 靖人 様
 静岡大学 グローバル企画推進室
 特任教授 大八木 智一 様

(静岡文化芸術大学) 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科
 副学長/教授 池上 重弘 様
 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科
 教授 下澤 嶽 様

(浜松市) 浜松市産業部
 次長 瀧下 且元 様
 浜松市産業部 観光・シティプロモーション課
 副技監 海外戦略グループ長 滝本 陽一 様

A グループ（産業）

「海外進出企業、グローバル人材採用企業の実例・課題」

- ・ 外国人就労者のキャリアアッププランの確立
- ・ 外国人就労者への福利厚生充実
 - 遠足・食事会・地域イベントへ一緒に参加
- ・ 日本人従業員への海外研修
- ・ 日本人従業員を浜松市内で多数開催されている、外国人イベントへの参加
- ・ 日本側にて、積極的に海外留学生のインターンシップの受け入れを行う
- ・ 進出先の現地（海外）にて”浜松ブランド”の啓蒙を全ての企業・個人が積極的に行う。全ての企業・個人が”浜松”のセールスマンになる。
当社含めて、企業のロビーに浜松市のプロモーション商材を展示
(ポスター、パンフレット、ビデオ、商品) ←浜松市が定期的に支給
- ・ 従業員、インターンシップ教育や研修において浜松市を学ぶ時間が有っても良いのでは。
その際に、浜松市の文化、歴史、産業などの地域資源を学ぶ事が出来る多言語のテキストやパンフレット及びビデオを浜松市に用意して頂きたい。

B グループ（大学）

「中長期的な視点での教育側からのグローバル人材の獲得」

- ・ 産業界へのヒヤリング（人材・研究内容の要望）
- ・ 留学生人材データベースの公開
- ・ 海外の中学・高校への積極的プロモーション
中学・高校時にコンタクトしないと、大学では遅い
現地大学→日本語学校→浜松の大学では、卒業時に20代後半になる
- ・ 一大学での動きではなく、遠州地域の全大学&専門学校・日本語学校が協力
- ・ 越日工業大学と金沢工業大学のカリキュラム共有の事例のように、海外での大学の開校或いは協力の開校或いは協力の開校
- ・ 浜松を選んでグローバル人材が集まる環境づくり（浜松で”しか”出来ない）
例）準天頂衛星みちびきの打上など、日本が世界に先行し近々（2018年度）に実現する高精度位置情報社会を見据え、静岡大学の屋上に一昨年設置した、全球測位衛星システム（GLOBAL NAVIGATION SATELLITE SYSTEM; GNSS）アンテナによる環境提供（半径10KM圏内）
- ・ 自動運転や人工知能（Artificial Intelligence; AI）の技術力強化の為に環境提供
- ・ 光産業を始めとする浜松市としての次世代産業への先端技術環境

C グループ（浜松市）

「浜松市側の環境整備と海外プロモーション」

- ・観光・産業・教育などバラバラな部署を統括し動ける”グローバル部”を設置
- ・浜松の地域資源（観光のみならず、教育・産業、文化・歴史）多言語発信
- ・海外に、浜松市のインキュベート施設の設置
 - 補助制度はあるが、常設のインキュベートマネージャー常駐型が必要
 - インキュベート&浜松市プロモーションの拠点となる事で、海外⇄日本のハブとなる
 - 浜松市が補助或いは、進出企業・大学等で補助し、民間が行うのが良い
 - 現在も浜松市の委託事務所的なモノはありますが、待ちの施設ではダメだと思います。
 - 現地で、産・官・学へセールスするくらいの方が常駐しないと何も動きません。
- ・県外企業のみならず、スタートアップ・サテライト施設の外国人対応
- ・浜松市側での地域資源（歴史・文化・偉人など）を小中高でしっかりと教育
- ・インターナショナルスクールの開校
- ・地元住民への共生理解啓蒙活動

浜松グローバル人材研究会について

H29. 9. 11 浜松経済同友会事務局

■ 期間 : 平成29年9月～平成30年3月

■ 活動 : 月1回程度の会合（日程は下記参照）

17:30～18:00 御食事

18:00～19:00 全体会議（有識者からの講義等）

19:00～20:00 グループ会議

■ 今後の活動スケジュールについて

9月11日（月） ⇒ 発足総会

10月10日（火）

アンケート実施

11月13日（月）

12月11日（月） ⇒ 中間報告会（予定）

1月 9日（火）

2月13日（火） ⇒ 予備日

*2月中旬～3月末の中で1日 ⇒ **同友会経済サミット開催**（日程調整中）

■ 次回開催案内

・日時：平成29年10月10日（火）18:00（17:30より御食事）

・会場：呉竹壮（浜松市中区東伊場1-1-26）